

笠岡市学校給食センター

贈呈理由

ヒートポンプ給湯機の導入など、オール電化の採用により、大幅な省エネルギーを実現



笠岡市学校給食センター

新しく生まれ変わった地域の学校給食センター

笠岡市学校給食センターのある岡山県笠岡市は県の南西部に位置し、西は広島県福山市に隣接する市で、大小31の島々からなる笠岡諸島を含む井笠地方を代表する都市である。

また、世界でひとつしかない「カブトガニ博物館」は、国指定天然記念物のカブトガニをテーマにしており、展示はもちろん研究も行われている。

笠岡市では、1969年7月1日から笠岡市八番町の笠岡市立中央小学校地内で、島しょ部を除く全小中学校に給食を提供してきたが、施設の老朽化と新しい衛生管理基準に対応するため、新たな笠岡学校給食センターの建設を計

画。2017年1月に建設工事を着手、翌18年4月に開所した。

新しくなった笠岡学校給食センターは、市内30小中学校と8幼稚園に1日3,900食を提供しており、厨房内は衛生管理を徹底するため食材と人の移動を「ワンウェイ」化。「汚染作業区域」「非汚染区域」「その他の区域」を明確に分離し、調理後2時間以内の喫食に重点を置いた施設になっている。

生産現場の状況にあわせて必要十分なシステムを増強

また、周囲の環境に配慮した効率的で質の高い施設とするため、給湯システムには省エネルギー性に優れた業務用エコキュートを、厨房には夜間電力を活用した蓄熱式蒸気発生器からの蒸



調理室

気を利用する回転釜を採用している。

笠岡市学校給食センターは、笠岡市の食育の推進とその充実に向けた核となる施設を目指して、調理現場の様子が見学できるスペースを確保し、学校給食における児童・生徒の栄養教育に関する情報を発信している。

同時に、地域に根ざした郷土料理や行事食などを献立として提供。次世代へ伝統的な食文化を継承するための拠点として期待されている。



業務用エコキュートと貯湯槽



蓄熱式蒸気発生器(厨房用)

笠岡市学校給食センター

所在地:岡山県笠岡市大井南42-2
延床面積:3,141.31㎡
竣工:2018年1月新設

■設備概要

業務用エコキュート40kW×10台(三菱電機)
貯湯槽40.482㎡
蓄熱式蒸気発生器27kW×5台(IHI検査計測)



ヒートポンプ給湯



蓄熱式蒸気発生器